

「一生懸命がんばって 今日までそばにいてくれてありがとう」

天高く響きわたる大神楽のお囃子とにぎやかな祭りのかけ声。

あばれ神楽は逃げ回る子供達を追いかけて、誰もが笑顔で楽しみ、笑い声のはじける日。それが、母の愛した祭りの風景です。毎年秋立つ頃になれば、そろそろと子供のように心待ちにしておりました。婿や孫、ひ孫達が太鼓を叩く勇姿も嬉しく、特にお宮さんの門をくぐる時の曲を気に入って「大門入りの時がええなあ」と満足そうだった笑顔が忘れられません。「次は来れるか分からんね」と言うようになった母を、昨年までは祭りに連れて行くことができました。

気弱な言葉に歳を感じて淋しく思うこともありましたが、ここまでは頑張れたのは母だからこそ……昔から小さな身体にいつぱいの元気を詰め込んで私達を愛情深く育て、長い間見守ってくれた母には、どうかまたゆつくり旅行でも楽しんでほしいと願うばかりです。

母博善花子は、平成二十一年一月七日、百歳にて生涯をとおしました。生前多くのご厚情を賜りました皆様へ、深く感謝を申し上げます。本日のご会葬誠に有り難うございました。略儀ながら書状をもってお礼申し上げます。

平成二十一年一月九日

〒000-0000

〇〇市〇〇町〇丁目〇〇

喪主 博善太郎

外 親戚一同

サンプル

なお本日は何かと混雑に取り紛れ不行届のありましたことお詫び申し上げます。

博善社 謹製